

第7回福崎町総合教育会議会議録

開催日時 平成29年12月1日(金) 13時26分～15時13分
開催場所 福崎町役場 2階 大会議室
出席委員 福崎町長 橋本省三
福崎町教育委員会 教育長 高寄十郎
教育委員 石川 治、谷口喜久美、西井裕子
欠席委員 教育委員 桑谷祐顕
事務局 福崎町教育委員会学校教育課長 岩木秀人、社会教育課長 大塚久典、
学校教育課主査 宮本江利子
傍聴人 なし
オブザーバー 福崎町総務課長 山下健介

(司会) 学校教育課長 (議事進行) 橋本町長

1、開会

(事務局) 失礼いたします。定刻よりも少し早いのですが、お揃いでございますので、ただいまから第7回福崎町総合教育会議を開会させて頂きたいと思っております。橋本省三福崎町長様からごあいさつを頂きます。よろしく願いいたします。

2、あいさつ

橋本省三町長からあいさつがありました。

(橋本町長) 本年も早いものであとの1回のみとなりました。12月17日をもちまして、私、福崎町長2年目が過ぎるわけでございます。18日から3年目に入りますが、なかなか町長職になじみませんで申し訳ありません。昨年からは自然災害が多岐、とりわけ九州の方では、昨年の熊本県益城町における大きな地震、その後にはゲリラ豪雨という二次災害が、また本年の7月上旬には九州北部のゲリラ豪雨がありました。兵庫県では、7月18日未明のゲリラ豪雨ですとか、9月17日から18日にかけての台風18号、また22・23日、特に22日は衆議院議員選挙の中で台風到来ということがありました。29日の総合防災訓練も風雨でしたが、訓練としては反対に好天気といえる中で執行させていただきました。しかし、ヘリコプターが飛んでこなかったのはちょっとさびしい気持ちもしておりました。しかし、訓練としては、いい訓練になったのではないかと思います。この11月の終わりについては、国・県・町の予算編成で、次年度に対する取り組みが始まります。とりわけ、国におきましては、先週と今週のこの2週間が非常に大事な時期だということで、先週の20日・21日は東京へ行かせていただきました。20日は治山治水全国大会がございました。私は、兵庫県の協会長をしておりまして、これに参加をさせていただきました。タイミング的には非常にいい時期に行かせていただきました。治山治水は県の事業ではありますが、県の配分を受けて、市や町の弱い部分に対応していただいている中で、福崎町におきましても治水や治山事業を行っており、これらについて県からも御礼がきています。あくる日は、国土基盤整備事業全国大会に参加しました。国土交通省に福崎町の駅周辺整備における街路の関係の予算をお願い参りました。今週に入り、昨日木曜日まで4日間、同じく東京に行かせていただきました。これは、12町の町長会等々の要望活動も含めてでありますけれども、福崎町独自の活動といたしましては、やはり一番は、駅周辺整備ということで、道路局でありますとか、都市局で

ありますとかを回らせていただきました。また同じく、先週に引き続き申し訳ないのですがということで、治水や砂防関係も回らせていただきました。JR福崎駅周辺につきましては、4年目に入って、28年度の経済対策の予算と、29年度当初予算により、4年目でようやく事業費ベースで計画に追いついたという形で、今のところ事業費ベースでは86%いただいているということになります。道路局長曰く、最終的な年度については、道路局の部分の予算は間違いなく配当させていただきます、ということで、国土交通省の地方整備局から県へ予算が下りてくるわけでありまして、28年度の経済対策のときも含め、そういう活動においては、やはり東京まで行くような形でなければならないのかなと思います。これは、あくまでもインフラ整備等々の話でありまして、生活ベースになりますと、国民健康保険の保険者が町から県にかわることで、それも付加限度額が40,000円も引き上げられ、基礎的な引き上げで、中間所得層には負担軽減を少し示すということになると言われているわけではありますけれども、現実的には大きく繰り上がるということになります。現在よりも40,000円引き上げまして、最高額が930,000円となります。4期割の人にとりましては、1期が230,000円~240,000円とかを納付しなければならなくなります。そんな話があるかというくらいの額になっているところなんです。それとともに、地方財政は非常に豊かではないのかという反対論議が国のほうでは言われています。といいますのも、地方の各市町村が財政調整基金なるものを持っているということで、町でいいますと、播磨町でしたら、町域が小さいですし住民が非常に多いという関係もあるのですが、貯金の財政調整基金だけで40何億円とか50億円とかをお持ちだということです。また、猪名川町では反対に事業をやっていないのかどうか知りませんが、いわゆる借金ですね、地方債残高が住民一人当たり平均すると10,000円と非常に低い額で推移しています。本町においては、実質公債費比率が12%ちょっとと非常に高いですし、将来負担比率も160%を超える形となっています。一方、福崎町の教育につきましては、教育長ともお話しをさせていただきながら進めていきたいと思っています。子どもたちの状態によって、スクールヘルパーというような形で当面考えていかなければいけないなと思いますし、学校教育における分野では、現在調査中ではありますが、今後は校舎等の修繕・修理を加えていかなければならないという形になっています。それぞれの中で、将来を含めた中での取扱いになるかと思えます。それとともに、やはり、議員のみなさまも住民のみなさまから聞かれると思いますが、要望としては、小学校の低学年に空調機・エアコンを設置してやってほしいという要望です。トイレへの要望も非常に強いのですが、できたら対応していければなというところで今止まっているのですが、少々無理をしてでも頑張りたいなと思っています。これらはまだ発表する段階には至りませんが、取り組みも考えていきたいと思っています。今後につきましては、基礎的自治体の在り方が考え直されるというような形になっております。神崎郡3町あるわけですが、福崎町は広域行政につきましては歩調をあわせませんが、それ以外のところにつきましては、各自独自の個性あるまちづくりということになろうかと思えます。福崎町は今、第5次総合計画前期基本計画の4年目に入っております。次年度は5年目で、次の5年間の計画をたてる年でもあります。そういった関係を含め、先を見据えた計画づくりも大切ではないかと思えます。そういう関係を含め、教育委員さんのご意見を町長として聞かせていただき、それらをできれば反映できるような形にできたらと思います。忌憚なき意見を頂きますようよろしくお願いいたしまして、冒頭のあいさつとさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

(事務局) ありがとうございます。本日の会議は、あらかじめ配付させていただいております「第7回福崎町総合教育会議 次第」と記載させていただいている資料に基づき進めさせていただきます。おめくりいただきまして、1ページには本日の会議の委員名簿をつけさせていただきます。桑谷教育委員様におかれましては、本日

所用によりご欠席でございます。また、オブザーバーといたしまして、総務課長山下健介様にご参加いただいております。この会議は公開となっておりますが、今回は傍聴の方はございません。よろしくお願いいたします。

3、議事録署名人の指名

本会の署名委員として橋本町長から谷口委員・西井委員を指名しました。

4、協議、調整事項

- ・平成29年度主要事業報告及び平成30年度以降の事業計画（案）について（教育委員会関係）
- ・意見交換

（橋本町長）それでは、次第の4番目、協議、調整事項に入っていきたいと思います。

1点目の「平成29年度主要事業報告及び平成30年度以降の事業計画（案）について（教育委員会関係）」、事務局から説明をお願いいたします。

（事務局）資料の2ページをお開きいただきたいと思います。「1. 平成29年度主要事業報告」です。「1 就学前教育・保育」の1)の2点目では、町独自の取り組みとして、5歳児の英語遊びを本年4月から幼児園で開始しています。ALTの月2回の来園を園児が楽しみにしているということで聞いています。「2 学校教育」「2」小中学校における体験学習事業」の1点目「自然学校体験活動事業」では、前回の総合教育会議でご協議いただいた方向に沿って、来年5月14日～18日の自然学校に向けた改善を進めています。「5」学校教育施設改修事業」では、今年度プールの漏水が2校であり、東中については年度当初にプール槽の継ぎ目の全面補修とともにプールサイド、ネットフェンスの施工を行いました。高岡小学校については、来年度のプール利用に向け改修を進める方向であります。「6」小中学校パソコン等更新事業」は、現在各学校のLAN配線工事を進めています。3学期開始までに、ハードの整備が完了する行程で進んでいます。3頁に入りまして校務支援ソフトについても3学期に使い方の講習やメーカーへのフィードバックを行い、教職員の業務改善を図ってまいります。「7」学校施設等長寿命化計画」の関係では、今年度の調査が11月20日の業務期間で完了いたしました。全体的には、築年数に応じた老朽化となっており、極端な老朽化が発生しているような建物はありませんでした。「8」給食センターの調理・配送業務の委託」につきましては、3者によるプロポーザル（企画提案）を受けヒアリングの結果、コーベフーズ(株)に決定いたしました。これから4ヶ月で平成30年4月の業務開始に向け、現場での調整を進めていきます。また、今日の新聞でもインフルエンザの流行が中播磨でも始まっているとの報道がありましたが、9月の教育委員会で報告させていただいた「子どもインフルエンザ予防接種の費用助成」が中学3年生までの児童生徒を対象として今年度から始まっています。保健センター事業でありますが付加えさせていただきます。続いて、社会教育です。

（事務局）それでは、続きまして、社会教育課の平成29年度、主要事業報告をさせていただきます。資料は、3ページでございます。1. 歴民運営事業です。神崎郡歴史民俗資料館は、旧神崎郡役所の建物を移築復元し、昭和57年10月に開館し、今年で35周年を迎えました。開館以来、福崎を中心に保存・収集してきました郷土資料、約3万点の中の各分野から選出した物を「れきみんのお宝35選」として、一堂に展示する特別展をおこないました。また、特別展にちなんだ連続講座を5回実施する予定としております。2. 柳田國男・松岡家記念館管理・運営事業です。例年おこなっております山桃忌は、第38回を数えました。今年度は、「女性の目から見た柳田國男と民俗学」をテーマに開催いたしました。第1部は、講演、シンポジウムを、第2部は、淡路人形座に人形浄瑠璃を上演いただきました。また、柳田國男検定も今年で

4回目を実施いたしました。3. 三木家住宅管理事業です。7年間の工事も昨年度完了し、今年度より主屋部分を、土日・祝日で公開しております。公開記念としまして、コンサート、講演会、五月人形展、建造物見学会、遠野昔がたり等、様々なイベントをおこなっております。また、神戸大学連携事業としまして、三木家資料の整理もおこなっております。4. 文化財保護事業では、高岡・福田地区ほ場整備事業に伴う、北工区の分布・試掘・確認調査を順次おこなっております。5. 社会教育施設改修事業です。図書館施設改修工事は、自習スペースを設け、学習するための机10客を設置しました。スポーツ公園テニスコート改修工事は、宝くじ助成事業の採択を受けれることとなったため、当初2面の改修予定でしたが、4面全面の人工芝の張り替え工事を明日からとりかかります。文化センター駐車場 擁壁改修工事は、桜の幹が大きくなりすぎ、擁壁が道路側に倒れ、危険な状態であったため、実施するものです。現在解体工事が完了し、次に設置工事を発注するべく準備をしております。第1体育館トレーニング器具更新ですが、こちらも宝くじ助成事業の採択を受けられる事となったため、トレッドミル2台とロータリーヒップ他3台の入札準備に入っております。12/6入札予定です。また、小さいお子様連れで賑わっております、さるびあドーム横の遊具広場に新たにロッキング遊具設置いたします。エルデホールでは、3年計画でおこなっております音響設備の更新の今年度、第2期目の工事をいたします。社会教育課からは以上です。

(事務局) 続きまして、4ページになります。「2. 平成30年度以降の事業計画(案)」としてしているところです。現状や制度改正等を勘案しての事務局案でありますので、ご了承のほどよろしくお願ひします。「1 就学前教育・保育」では、平成28年度から国の施策として進められている「就学前教育の段階的無償化」が、今後は「就学前教育・保育の無償化」として、平成30年度、31年度と進められる方向であります。2点目ですが、女性の社会進出等の国施策や保護者意識の変化に伴い0～1歳児の入園の希望が増えていることに対応する施設の改修等を検討し、本町の待機児童対策を考えていく必要が出てきています。「子ども子育て支援事業計画」は5年毎に計画策定を行っており、現行計画は平成31年度までとなっています。計画策定時にはアンケート調査を行っており、平成32年度からの計画についても同様に進めて参りたいと考えています。「2 学校教育」の「2」中学校における体験学習事業」では5点目に「遠野市との児童生徒交流事業」をあげています。平成26年8月の福崎町と遠野市との友好都市交流宣言に基づく連携事業として、将来を担う子どもたちの交流を図りたいと考えています。「3」国際教育推進事業」の2点目です。「外国語教育の充実」で、福崎町としては小3～4年生の活動時数の増、5～6年生の授業時数の増を平成30年度に先行実施していきたいと考えています。「4」特別の教科「道徳」について、小学校で平成30年度から教科化されます。5頁に入りまして、第52回全日本中学校道徳教育研究大会兵庫大会、平成30年度兵庫県道徳教育実践研究事業発表会が平成30年11月1日に、高岡小学校と福崎西中学校で開催されます。「5」給食調理事業」では、平成30年度から民間委託を活用して児童生徒の安全安心な成長に繋げていきます。「6」高岡小学校プールの漏水改修」は、今年度の設計から進め、30年度はじめてに工事を行う方向です。「7」長寿命化計画」につきましては、調査に引き続いて、計画策定に進めていきたいと考えています。続いて、社会教育です。

(事務局) つづきまして、社会教育課の平成30年度以降の事業計画(案)としまして1) 柳田國男・松岡家記念館管理・運営事業です。昨日、柳田國男・松岡家記念館顧問の石井正己先生と、第39回目となります山桃忌の打合せをおこないました。30年度から学校教育課で取り組む遠野市との児童交流事業も勘案し、「柳田國男と遠野物語」をテーマに考えていこうと思っております。また、松岡静雄 生誕140年の年となりますので、記念展を考えていこうと思ひます。2) 歴民運営事業です。まだ、

案の段階ですが、来年、明治から数えて150年の年にあたりますので、それに絡めた記念展を考えていこうと思います。3) 三木家住宅管理事業です。今年度に引き続き、三木家資料整理事業を行いたいと考えております。4) 文化財保護事業です。高岡・福田地区ほ場整備事業に伴う調査を引き続き行います。30年度は、埋蔵文化財の本調査に取りかかります。5) 社会教育施設改修事業としまして、あくまで案でございます。30年度でできるかは分かりませんが、記載しております、エルデホール高圧受電設備改修等各種点検で指摘されております箇所につきまして要望していきたいと考えております。

(事務局) 資料の説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

(橋本町長) 以上で説明が終わりました。非常に広いので、項目別にいきます。まず、平成29年度の主要事業「1 就学前教育・保育」に関するところで、なにかご提案や今現在思っておられることがございましたら、どなたからでもお願いたします。

(委員) 29年度にも30年度にもあるのですが、就学前教育の段階的無償化については、国が取り組みをやっているの、それについてどうのこうの言うこともないのですが、3歳以上の子どもを無償化するとなったら、今家でみられている家庭でも当然タダだからと預けられて、幼稚園の定員増にからんできたりという心配はないのでしょうか。

(橋本町長) どうですか。

(事務局) はい。言われておりますように、特に3歳児については預けられる方が増えてくるのではないかと思います。ただ、施設としては3歳・4歳・5歳の幼稚園の年代には対応できるような規模になっていると今のところ認識しています。

(橋本町長) とりあえず、来年の平成30年度は、就学前教育については、閣議ではなく政府案としては無償化にもっていきたいというようになってはいますが、予算化には至っていません。国にそれだけの予算があるかという、ない。ない袖は振れないというのが今の財務省の考え方です。

(委員) ない部分は消費税を引き上げた部分で、というところもあるのでしょうか。

(橋本町長) 基本的には、先を見据えた形の中で、税と社会保障の関係を含めて、今までは考えておられたということで、それとともに、これ以上国の借金を増やすわけにはいかないという中で、消費税を国の借金を減らすという、一つのプライマリーバランスをとれるような状態にしたい、活かし方をしたいというのが国の方針だったのですが、ここへ来て、衆議院議員選挙前から、この税の使い道は、将来的な借金の分には使うことはできないということで、今のところ政府の方針としては、そういう取り組みをお願いしたいという形になっています。当然、文部科学省からの予算要求という中で、岩木課長が言いましたように、保育所児もあがってきているわけですが、現実には政府が言ったのは、就学前教育、いわゆる3歳児以上の対応を無償化と言われていたわけ。これが今保育所まで含めて無償化にしましょうという案が一方では出てきたというところで、そこら辺が、財務省と文部科学省または厚生労働省との戦いという形で、保育所にあたる部分と幼稚園にあたる部分を含めて、ミックスした部分もうちの場合は特長として認定こども園という形の中でやっているのですが、その中では、これらを実質この年内で決めてもらわなければ、私どもの予算にも反映しづらいところがあります。有料の部分の保育料を歳入であげていて、それを無償化にすると、その分国の補てん部分が増えるかという、多分増えないと思います。地方消費税を含めた配分で、地方の一般財源を確保しておくから地方で頑張れ、という言い方に多分なってくると思います。私が財務省の主計官であれば、間違いなくそういう言い方をすると思います。現実の話、冒頭で私のあいさつの中でも言わせていただきましたが、福崎町の財政も非常に厳しいという関係の中から、どういったような形をとるか、ここに掲げてある30年度の要望のどのあたりまで対応できるか。29年度の継続事業まではそういう形をとりますが、財源があるものはいいです。例えば、5ペ

ージの6番目高岡小学校プール漏水改修工事は、実は防災減災の起債があたるものです。防災減災の起債をとりますと、交付税で返ってくるのが70%になります。要は7割の補助事業と考えていただければいいかと思います。単年で30%出すのではなく、全体として70%ですから、70%をいただきながら、30%返すということになります。そういった有利性のある事業がまず優先されるであろう、と。ただし、その中でも、単独であったとしても必ずできないかというというのではなく、やはり必要度に応じて対応していかなければいけないと思います。そういう意味では、2ページの一番下の小中学校のパソコン等の更新が書いてあります。非常に経費もかかっている事柄でもあります、何年間に1回は必ず更新を加えて行かなければいけないということです。子ども・子育て支援事業が27年度から31年度までの計画ということで、中間見直しという話がありましたが、学童保育も午後7時まで開園、と1時間延長したんですね。岩木課長、この辺りの市町で7時まで開けているところはどこがありますか。

(事務局) 確認はしていませんが、姫路はばらつきはありますが、開けているところもあります。

(橋本町長) 神崎郡はどうですか。神河町、市川町はどうでしょうか。

(事務局) 神崎郡も7時までになってきていると思います。

(橋本町長) してきましたか。

(事務局) そのような話を聞いています。

(橋本町長) うちがやって、それを受けてのことですね。多分、うちがやるときにはまだやっていなかったですね。

(事務局) はい、そうです。

(橋本町長) 働くお母さん方が増えてきた、またお母さん方の就労の形の中で、お母さん方が戦力になっておりまして、やはり働くお母さん方、1億総活躍時代を迎えたということで、今までの在り方と若干変わってきているんだなと思います。

(高寄教育長) はい。

(橋本町長) どうぞ。

(高寄教育長) 就学前教育・保育の関係で、0歳児・1歳児に関して、今年1年間いろいろ見てきたのですが、福崎町は待機児童はございません。しかしながら、0歳児・1歳児に関しましては、順番待ちをしていただいているお家がいくらかあります。順番待ちをしていただいているのは、他の園なら行けるんだけれども、家が近いとか仕事の関係であるとか、お姉ちゃんお兄ちゃんがこの園にいるから、違う園に行くとお迎えが2つに分かれるから、というような事柄から順番待ちをされているお家がある園が6園のうち4園あります。そういうことも考えて、やはり0歳児・1歳児への要望が非常に強いということで、来年度は福崎町の現状をみたときに、0歳児・1歳児の定員を少し増やしていかなければ、保護者のニーズ・町民の要望に答えきれないのではないかと思います。ただ、いくらでも増やせばいいというというものではなく、いま町内の園を見ていたら、田原幼稚園くらいがごくごく一部ですが、1教室増やせるスペースがあるのではないかと思います。一番ニーズの多いのも田原幼稚園ですので、田原幼稚園で0歳児・1歳児の定員を少し増やしたらどうかと考えています。そのためには、1教室増築が必要になってくるのではないかと思います。ただ、すべてお金が後押しになりますから、財務当局と話し合っていかなければいけないという状況にあるのではないかと思います。

(橋本町長) 0歳児・1歳児保育について、6園中4園に順番待ちの児童がいるということで、1教室増築というのは、一番要望の多い田原幼稚園にというお話しでしたが、4園に分散されているのであれば4園とも増築しなければいけないということではないのでしょうか。

(高寄教育長) できればそれが一番理想ですが、今の施設を見たり用地を見たりして

と、なかなか4園とも増設というのは難しいような状況にあるのではないかと思います。

(橋本町長) ということは、待機児童解消は、田原幼稚園でのみ解消されるということ、あとの3園は残ってしまうということになりませんか。

(高寄教育長) あとの3園に関しては、そんなに多く待機が出ている訳ではありません。そういうことも考えて、私ども事務局としては、まず1園だけでも0歳児・1歳児の受け入れを増やしたいと考えています。

(橋本町長) 最終的には財政の査定を受けていただき、私のところに来るので私がどういう考え方を持つかによるのですが、私はよくわからないのですが、0歳児は0歳児でお預かりをする、ということですね。0歳児は3ヶ月児からお預かりしているのですが、1歳児は1歳児で教室の大きさと定数が決まっているのですよね。

(事務局) はい。

(橋本町長) それを含めても教室を増やしていかなければいけないということなのか。それとも条例中の定数をただ増やせばいいということではないのでしょうか。

(事務局) 数字上定数を増やすということだけではなく、何らかの部屋を増やす必要があるのですが、田原幼稚園であれば一時預かりの部屋を2つ持っていて、その区割りトイレの改修をすれば、建物としての増築でなくてもいける可能性があるということで、今まちづくり課と相談をさせてもらっておりまして、田原幼稚園が一番そのあたりの柔軟性があるので、具体化できないかと思っています。

(橋本町長) 私立にしても、サルビアこども園等は人気があります。元々保育所の背景が生きているということで、サルビアこども園は昔で言うと駅前の一部、福田、山崎の区分けが生きています。わかりました。子ども・子育て支援事業計画における中間見直し等で、保育人数の変更や学童保育園の利用人数等について、このあたりの推移はこれまでも教育委員会で報告してこられていますか。

(事務局) はい。

(橋本町長) それでは、2点目の「学校教育」における分野で、何かご意見がございましたらどうぞ。

(高寄教育長) 福崎町では3年前から遠野市との友好提携をしまして、最近かなりの範囲での交流がすすんでいます。その中において、教育の分野が少し遅れているのではないかとということで、今年遠野市へ行って、交流の準備を進めて参りまして、来年度、柳田國男先生と『遠野物語』の作者であります、佐々木喜善さんの学んだ学校、土淵(つちぶち)小学校に先日了解をいただいているところであります。土淵小学校の校長先生にも大歓迎とおっしゃっていただいておりますので、来年度そういう方向で進めていきたいと思っております。

(橋本町長) 学童については、平成6年から12年まで、長野県飯田市と6年間交流をさせていただきました。そして最後の平成12年度に遠野市との交流をしました。企画財政課に調べさせたのですが、その記録は残っていなかったということです。この頃は私が財政を全部やっていたのですが、私の記憶の中からも飛んでしまいました。その7年前、昭和62年から平成12年まで、住民さんの交流を柳田國男サミットが開催される市や村と行っておりまして。公募で50人だったと思います。住民さんの場合は、約半分自己負担いただいて、半分公費で負担させていただきました。帰ってこられたときにその交流事業に対する感想文のようなものを提出していただきました。一番最初、柳田國男先生の本を読んでいただき、感想文を書いていただいた延長で、こういう事業が出発したということです。次年度からそうして取り組みましょうということです。いま教育長が言われましたように、『遠野物語』は柳田國男先生が書かれたのですが、岩手県遠野市における各地域の言い伝えのようなものを柳田國男先生に伝えたのが佐々木喜善さんということで、その方の卒業された小学校と交流しましょうということです。喜善さんの卒業された小学校と交流を図り

ましようということです。交流先の小学校の人数は、少なかったですね。

(高寄教育長) そうです。

(橋本町長) 遠野市は本田市長の鶴の一声のような形で交流事業がすすみました。福崎町から交流事業を呼びかけたのですが、遠野市は非常に交流する相手が多いです。国内で7市、外国との姉妹都市提携は3市されています。遠野市は「姉妹提携」という名称を使うのは、あくまでも諸外国の市と交流を「姉妹提携」という中でされています。国内の各市町と交流されるときは名称が変わっています。福崎町とは「友好都市提携」という名称でやってきています。今年で丸3年たちました。ちょうど嶋田町長と志水前議員さんが議長のとときに締結させていただきました。

(高寄教育長) その次、外国語教育の件ですが、今年からALTの活用をしまして、幼稚園の5歳児から2週間に一度ずつ、ごく身近に英語を感じられるように、英語にふれるという形で取り組んできています。3年後には学習指導要領が変わり、小学校3・4年生から週1時間、5・6年生は週2時間導入されることになっています。福崎町としては、イングリッシュ・フェスティバルを始めとして、英語教育に力を入れているということで取り組んできております。そういうことから、来年度から余裕のある市町は英語の先行実施をしてもよいと言われておりますので、福崎町も小学校3・4年生は週1時間、5・6年生は週2時間の英語教育の先行実施をしていきたいと思っています。そして再来年度の全国学力・学習状況調査の中学校3年生で初めて英語の科目が実施されるという計画になっています。今の福崎町の状況であれば、先行実施ができると思っておりますので、できるだけ前へ進めていきたいと思っております。

(橋本町長) 今現在、5歳児に対しては週1時間ですか。

(高寄教育長) 週1時間です。

(橋本町長) これらの取り組みをしているところは、この地区ではありますか。

(高寄教育長) 5歳児に関しては、郡内いずれもやっています。

(橋本町長) そうですか。

(高寄教育長) ただ、うちは行政の後押しがありました関係で、講師の招聘、以前はGATE(ゲイト)で今年からFW(フレンドリーワールド)といいますが、FWに来ていただいて、学校の先生方へのご指導を賜っているところであります。非常にレベルの高いものだとその先生方はおっしゃってくださっていて、全国どこへだしても福崎町の英語教育は恥ずかしくないとおっしゃってくださっています。

(橋本町長) 今いわれたのはなんとおっしゃいましたか。

(高寄教育長) フレンドリーワールドです。GATEが分裂いたしまして、代表のほうにFWになられたということです。

(橋本町長) GATEは発展的に解消されたということですね。

(高寄教育長) 有償ボランティアグループですので、経費的なこともあったようです。FW代表はお金にはそう影響を受けずに協力していこうということで、そういうグループがFWということになります。

(橋本町長) GATEの代表者は大学の講師でしたか。

(高寄教育長) 時間講師です。

(橋本町長) その方は一応ボランティアを続けておられるのですか。

(高寄教育長) 年間716,000円で月2回すべてのクラスに入らせていただいております。小学校1年生から4年生までは、うちの場合は英語活動を月1回やっています。

(橋本町長) 子どもも大変ですね。

(委員) それは、ALTとはまた別での活動なんですね。

(高寄教育長) ALTもやっています。小学校は一応ALTは1年から6年まで入っています。それプラス5・6年生にはFWが入っているということになります。そこへもってきて、月に1回ですけれども、中学校の英語の先生が6年生の英語の授業にやってくるという、小中連携教育を行っています。福崎町の場合、校舎を一つにしたよ

うな一貫教育はできませんので、教科の中で先生を活用したそういう一貫教育をしていこうという形で英語に対して取り組みを始めて2年目が終わろうとしています。

(委員) そのFWというのは、GATEから派生したもので、GATEはGATEでまだ別の市町では活動をされているのですか。福崎町ではもう活動されていないということでしょうか。

(高寄教育長) はい、今年からそうになっています。

(橋本町長) GATE時代から含めて、福崎町の英語教育は取り組みを早くやっていたというふうな評価はGATE代表者からは聞いたことがあります。

(高寄教育長) 福崎町の小学校の英語教育に関しましては、事務局もシンポジウムに出たりして宣伝もしてくれていますし、頑張ってくれています。もう一つ、5ページ行きますと、来年度全国の中学校の道徳の研究大会が福崎町で開かれるということになっています。会場は、福崎西中学校になっています。小学校は、来年度から「特別の教科 道徳」が時間割の中に入ってきます。中学校は1年遅れで入ることになります。そういうことから、来年度は高岡小学校が県の道徳の発表会をやるということになります。午前中それをやり、午後は西中で全国の発表会をするということで、今年もいろいろ取り組みをしております。そこで、まだ町長にはお話しをしていないのですが、中学校の全国大会は、兵庫県下5つの中学校で開催されるそうです。ですから、全国の方々がその5つの学校に分かれて行かれるわけなのですが、それでも全国大会で全国から来られるわけで、町長、もし時間が空いておられたら、歓迎のあいさつをお願いしたいと思っております。

(橋本町長) 研究大会があたるのはうれしいのですが、その準備をするのが大変です。学校も非常に大変だと思います。

(高寄教育長) ただ研究大会をやるだけではなく、その成果が子どもたちに出てくること、それを福崎町のまちづくりに活かしてこななければならないと思います。

(橋本町長) 全国大会と兵庫県の実践発表大会ということですが、これは県の発表会が午前中高岡小であって、西中の全国の発表会が午後からということで、みなさん方が集まられているところへ歓迎あいさつということですね。

(高寄教育長) そうです。午前中高岡小学校で兵庫県の先生を中心に授業を見てもらって、西中へ帰ってきてそこで弁当を食べてもらって、午後、全国から集まった人たちと一緒に西中の道徳の様子を見てもらうという運びになっております。ですから、何人来られるかということはまだ想像がつかないのですが、神戸のほうの会場へ行かれる人もあるだろうし。

(橋本町長) 道徳というのは来年から小学校は始まるのですか。月1時間ですか。

(高寄教育長) 小学校は来年から教科として始まります。週1時間です。今も週1時間でやっていますが、それは教科としてではなく、特別活動の一環として道徳をやっています。これが教科になります。

(橋本町長) 本当に小学校にしても中学校にしてもカリキュラムが非常に多いにもかかわらず、またこういう形で入ってきたら、授業時間が取りにくいですね。私たちの小さいときも、道徳という時間はありました。週1時間だったのでしょうか、月1時間だったのでしょうか。遠い記憶で覚えております。

(高寄教育長) 週1時間だったと思います。『親愛』という本を使ってやっていました。

(橋本町長) そうしたら、もう一度、再度2ページ・3ページに戻って、学校教育に対するもので何かございましたら、どうぞ。今まで8ヶ月の教育委員会の報告の中で聞かれた延長上になっております。

(委員) いいのでしょうか。今年も夏は暑かったんですけども、小学校や中学校の現場からエアコンの話が出ていていると聞いています。

(橋本町長) 親御さんからも出ています。それは、トイレも一緒ですが、各家庭において、学校と家庭とで環境が全然違ってきています。そういうことも含めて、合わせて

いかなければかわいそうなのかなというところでは。

(委員) 中学校3年生にしても、受験を控えて学習面に力を入れたいときになかなか集中できないということがあればかわいそうかなと思います。小学校低学年だけではなく、全体的に入れればいいですね。

(橋本町長) やっぱり財源が必要なので、それぞれの形の中で財源手当をしながらということになるのかなと思います。それとともに、最終形になると受電設備の更新が必要になってきます。それが結構また高いんです。高いし、重いんですよ。それをどこに設置するかによっても違ってきます。今まででしたら、屋上に設置されていたようなものが、屋上におけるかという多分おけないくらいの重さになってくるのではないかと思います。私どものこの庁舎も受電設備を更新するときに、吊り上げのための重機が来たのですが、その重機が乗り上げたら、それだけでこの庁舎の地盤が波打っていました。そして、前の設備を下ろしているときに、どこかで少し失敗しました。下に落として、マンホールがバンと割れて、その破片がまた飛んで、というような事故もありました。私が見ている目の前でそういうことがありました。やっぱり、そういう必要性もあるのかなと思いました。受電設備は、契約電力によってまた変わってくるといったようになりますので、マックスの容量で入れなければならないということになります。それと、学校のプールの漏水改修工事という2ページの2の5)ですが、東中学校はFRPを含めた取り組み、また高岡小学校は、岩木課長に聞きましたら、昨年まではどうということもなかったけれども、今年になって漏水が確認できたがその漏水場所がわからないということもありまして、実はこの12月定例で債務負担行為、要は補修する設計図を書いてもらう業者さんに対する取り組みの費用分と、来年度必ず予算を置きますよという行為を債務負担行為といいますけれども、それを使ってこの高岡小学校の漏水にあたっていこうということです。債務負担行為ですから、当然義務的経費で、来年度予算を置きますということは、そこで決定してしまうということにはなりません。

(高寄教育長) 3ページですけども、いいでしょうか。社会教育の図書館についてです。

(橋本町長) 社会教育は少しお待ち下さい。すいません。それでは、8)給食共同調理センター業務委託につきましては、これはもう30年度から委託しますということで、業者の選定をさせていただきました。これらについては、行政改革という中で、行政改革というと、なにか悪いことをしているようによく思われますが、実質的には、ここで退職された職員さんの定数分は、他に必要なところ、例えばお年寄りが増えていきますよということになれば、包括支援センターに職員、いわゆる保健師の必要性が出てきますよとか、子ども子育てで先生が必要であるとか、そういったようなところへこの職員の定数枠分を振り分けていきたいと思いますよというような考え方をもっています。それと、総務課長もおりますが、職員の中にはどこも一緒ですが、心を若干病む者も出てきておまして、これらは時代背景なのか、業務が厳しいのか、その辺りはよくわかりませんが、そういう職員が増えてきているというのも事実でありまして、それらにも対応してやらなければならないのかなというふうに思っております。正直言いますと、私が30歳代でやった仕事などは、今の職員はどのようにするのかと思います。家がすぐそこなのに、帰ることがありませんでしたから。あと、岩木課長が欄外でインフルエンザワクチンの接種助成が今年度から始まりましたという事柄でしたが、これは岩木課長、受けて申請して2,000円バックしてもらおうという形でしたか。医療機関で減額するのではなかったでしたか。あくまでも医療機関では全額支払って、それで申請をして、いただくという形でしたか。一人当たりの助成額は、2,000円でしたか。

(高寄教育長) 非常にありがたい制度で、子どものことを考えられる町長の考えがそこに出ていると思うのですが、私も先日65歳以上の接種をうけ、1,500円でした。

(橋本町長) 1,000円のものが1,500円になった報告を私が受けておりませんでした。インフルエンザワクチンそのものが500円以上値上がりしたということで、1,500円をお願いしたいと65歳以上の方々にお願いしたのですが、お願いするよりも先に決定しておりまして、私はたくさん怒られました。医療機関の前で「橋本町長さんになった途端に値上げされるんですね」とか、いろいろな形で言われました。電話もいただきました。そういう意味では、お金に関する事柄については、広報誌で示しましたというだけではやはりダメで、そういう意味では、学校教育も一緒なのかなと思います。こういう取り組みをしていますということを年1回の発行だけではなく、折り込みでもなんでもいいので、広報を配付するときに一緒に配付されたほうがいいのではないのでしょうか。

(事務局) インフルエンザの助成については、町が指定する11の診療所では、2,000円を引いた額をその場で支払うということです。指定していないところであれば、一旦お金を払って後から申請ということになります。

(橋本町長) そうですね。医師会との取り組みの中で、きちんと調整できていたと思っていましたので、岩木課長の言うとおりであれば保健センターに言わなければいけないと思いました。わかりました。町内のお医者さんにかかれば、間違いはないということです。学校教育はよろしいのでしょうか。

(委員) 学校教育の一番上にある、不登校・学習支援対策について、これは町の単費でいただいているものだと思いますが、本当にありがたい、他にないところですので、これだけはこれからも、お金がかかってくるのはわかっているのですけれども、なんとか継続をお願いしたいと思います。

(橋本町長) この分野につきましては、同じく予算要求もあがってくるでしょうし、財政査定の中でも経常的になっておりまして、そのような形でやっていただければと思います。私から財政に言わずとも、そのまますんなりと通る項目には今のところなっています。

(高寄教育長) この分野では、学校の先生方も感謝されているようです。

(橋本町長) 他の町ではありませんから。姫路市は1校に1人か1学年に1人か、なんせ人数が全然違います。あとは、教育長の熱意があって、私のほうへ話があがってきましたので、そういう中でのことです。それでは社会教育です。

(高寄教育長) 先ほど言いかけたのですが、5の図書館の自習室の設置です。これも無理を言って作っていただいて、見に行ったら、ちよくちよく利用されています。利用価値もよくて、本当によかったと思いますし、好評です。

(橋本町長) 本当は一番よかったのは、南面でした。

(委員) こないだもひょこっと見に行ったら、8人利用されていました。これはよかったなと思って見ました。

(橋本町長) これまではかたくなにダメですよという形でしたが、これによって解消されました。本当によかったと思っています。それでは、4ページに入りまして、次年度以降の事業計画というところです。

(高寄教育長) ここの3つとも、言いました。遠野も外国語も道徳も。申し訳ないです。

(橋本町長) 私も言いましたように、今予算の真っ最中でありまして、県の事業でありながら国においてもこちらがお願いに回るということもありましたので、ちょうど昨日一昨日でしたか、県から御礼のメールもだいぶん入ってありました。11月29日に県の技監から総務課にメールがあり、国交省の砂防部長を含め、私が会長をしている兵庫県支部の要望活動のタイミングがよかったので、その日のうちに査定があり、その日のうちに予算をつけてもらったというような内容でした。タイミングによっては、そういうようなことがあります。遠いところにあたりする場合もあります。小さな福崎町ですけれども、周り当番で会長が私のところへ回ってきて、たまたま要望活動をしに行ったときに査定日で、それがうまくいったということになったそうで

す。私も一昨日は全国町村長大会がありました。その日に国土交通省へ入って、道路局長とアポをとっておりましたので、そこでお出会いしました。全国町村長さんで1,800人くらいいるんですかね、会場へ入るんですが、たいていの方は要望活動にも回られます。もらった資料はそのまま昨日のうちに田路さんのところへ届いているということになっていると思います。タイミングが悪ければ、私どもの要望活動もそこで空振りで終わってしまいます。相手のスケジュールがわかりませんので、多分1分2分が勝負で、こうなっているようなところもありますので、そういう意味では難しいかなと思います。それと、福崎町の駅前に振角さんというお家があるんですけども、彼が元々財務省の主計官をやっておられて、後に金融庁へ行きました。今は外郭団体の理事長をやっていると思います。

(高寄教育長) 町長が先ほどタイミングとおっしゃいましたが、私はタイミングだけではなく、意欲があるからそうできているのであって、町長の後押しをするわけではないのですが、やる気というものが町民のほうへ返ってきているのが事実だと思います。それがまた福崎町の子どもも恩恵を受けるということだと思います。

(橋本町長) 多分、28日と29日の2日間、1日ずつ15km歩いていると思います。もち麦の効能の話をしてますと、非常によろこんでくださいました。男性のメタボ対策にいいという話もしました。高タンパクということもお話ししまして、家で一回炊いて家族で食してもらったということでお渡ししました。就学前教育・保育の関係については、今からまた新聞紙上を賑わしますので、1面もしくは2面3面あたりを少しのぞいて頂いたらと思います。一番賑やかになるのは多分12月28日の御用納めの日くらいが、国の予算組みの発表が地方行財政計画とともに発表されると思います。遅かったら年明けになる年もあります。1月10日前後頃くらいに地方自治財政局長の地方行財政計画を踏まえた講演が市町村アカデミーで発表されるというところ。これは本人とも話をしてきました。財政局長本人さんは実は尼崎が出身で、菩提寺が福崎町の悟真院さんです。福崎町の話にのってこられるなどと思ったら、実は私の家の菩提寺が悟真院さんなんです、火事が起こりましたけれどもという話でした。他のお寺から悟真院さんへ移して、先祖の供養もきちんとされたということでした。駅にカッパのベンチをおいているようなこともよくご存知でした。姓は黒田さんと言われるので、加治谷でしょうか。それでは、就学前教育については、岩木課長から報告があったように、そのような方向でもういったん流れてしまっているの、その流れを止めることはできないのではないかなと思います。あとは、学童保育も19:00までやりますし、放課後子ども教室につきましても前年に引き続きです。学校教育も先ほど石川委員のほうからご意見をいただきました。国際教育・外国語教育については、先行実施をやりたいということで、小学校3・4年生、小学校5・6年生、それぞれ前倒しでやりたいと教育長から報告がありました。それとともに、4) 道徳教育の推進の中での全国大会・兵庫県の実践発表ということで、午前中に高岡小学校県の実践発表、午後からは福崎西中学校で全国大会の発表が行われるということです。5) 学校給食共同調理事業については、私どもの給食センターで働いている職員が退職も含めた関係の中で引き続き調理にあたるというところ、また、アルバイト職員等についても事前に取り組みがあるのではないかなと思います。あと、高岡小学校のプール漏水改修につきましても、小学校のプール開きの前には工事完了という形になるかと思っています。長寿命化計画につきましても、これを待ち望んでいるそれぞれの施設もあろうかと思っていますので、予算化をしていくことになろうかと思っています。多分、長寿命化計画については、事務局、財源は起債になる予定でしたか。

(事務局) 1/3の交付金と、あとは起債になります。

(橋本町長) 起債の交付税算入はいくらになるか聞いていますか。

(事務局) 90%で、最終的な実質負担は全体の26%くらいだと聞いています。

(橋本町長) 1/3で残り90%が起債になるわけですね。ということは、当該年度に

おいては、2/3の0.9なので、1.8/3、ということは0.6ですか。0.6と0.33・・・なので0.93、つまり0.07の一般財源が必要ということですね。7%でも大きいですね、事業費によっては。一番最初に取り組むのは、福崎小の北校舎ですか。

(事務局) 年数でいきますと、高岡小の北校舎が築42年でになります。

(橋本町長) どちらも北を向いているので、カビというか湿気というかでおちてくるのでしょうか。学校教育はよろしいでしょうか。

(委員) 学校給食が来年度から民間委託にというところで、母の立場からすると、ちょっと気になるところです。今月も異物混入ということで聞いているのですが、民間委託ということでさらに気になることがあります。10月に中・西播磨地区女性教育委員研修会でたつの市の新しい給食センターを視察させていただきました。どこをみても「すごい」「こんなことができるの」というくらい感嘆の素晴らしい厨房設備とか衛生管理を考えた設備にしてありました。それはすごいと思ったのですが、尋ねてみたところ、それでも異物混入はありますということを知りました。そのようなすごい設備、衛生管理をしているにもかかわらず、毎月のように異物混入があるということなので、福崎町の給食センターはまだ見せていただいたことはないの、また教育長に見学をお願いしたいという要望を出しているのですけれども。

(橋本町長) 調理場まで入れるかどうかはもしかすると難しいかもしれませんが、春休みなどの給食をしないうきにされてはどうでしょうか。

(委員) 2階の窓から見られるのではありませんか。

(橋本町長) あそこからは簡単な入口のところしか見られません。

(高寄教育長) 中へ入ろうと思うと検便が必要になります。検便をしなと誰も入れません。

(橋本町長) そういうようにして、いろいろな形がありますので、そういう手続きをきちんとやっていただいて、初めて入れるということになります。秋祭りの味じまんコーナーをやるとき等でもきちんと検便を必ずします。しかし、全然せずにされているところもあります。新町はどうですか。

(委員) 何人かしたらいいと言いますね。

(委員) 全員の検便ではありません。グループのうち数人がすればいいと聞いたことがあります。

(橋本町長) そういう障害となる部分をきちんとやって、一度中を覗いていただいたらいいと思います。乾式の調理場なので、結構きれいな状態にあるのは確かです。一番最初建てる時にそういうことに注意して建てました。

(委員) 乾式と聞いていたのですが、以前見に行ったときに水をまいておられました。栄養士に聞いたところ、調理員は前の感覚が抜けなくてとおっしゃっていました。

(橋本町長) 家の台所も一緒です。昔はおくどさんがあって、流し台があるようなものでしたが、今はもうきちんとしています。いつのまにこうなったのかという感じです。

(委員) 例えばお米を炊くのも全部機械化されていました。お米以外のことにも通用するのですが、袋の中のお米をあけるのにもはさみで袋を切るのですが、最後まで切らないということでした。福崎町もそうなっているのでしょうか。

(高寄教育長) 福崎町もそうしています。

(橋本町長) そうなっているのですが、なぜか混入してしまったということでしょう。業者の方に聞いたのですが、100%大丈夫とはいえませんがということでした。異物も髪の毛等は全くないですが、一番混入するのが食料品の中でも袋に入っている野菜類の袋を切るときの切り方がまずくて、端切れが入ってしまったりすることはあるというようなことをおっしゃっていました。しかし、意識は常に持たせるというのか、そういう教育は職員にはしています。今調理にあたっている職員が意識していないかというところではなく、センターの管理栄養士2名がそういう指導を職員にしていま

す。職員も夏休みに研修に行きます。研修に行き、給食調理というものをこういったような形でやっているのかを勉強しています。一番悪いのは食中毒やノロウイルス。そういうものがありますので、家の中でそういう具合の悪い方がいれば、報告をしてもらうようにしています。自分はどうもなくても家族にノロウイルスの方がいるかもしれない。割と職員はきびきびとセンター内で動いていますね。

(事務局) そう思います。

(橋本町長) あと数年もすれば、すべての職員を引き上げるんですけども、ちょうど職員の入れ替わりの時期でもあります。それを定数管理の中で考えます。経費そのものについては、あまり変わらないのですよね。

(事務局) はい、若干下がる程度です。

(橋本町長) 経費よりも定数枠を取りたかったところが大きかったです。とりわけ高齢化社会に対する対応が必要ではないかと思いました。長寿命化計画については、前年に引き続いた形の中で取り組みを進めていくわけですけども、その中でも選定をしていていただきたいと思えます。あと、社会教育5項目ありますが、何かございましたらどうぞ。

(高寄教育長) 1) の山桃忌のことです。福崎町が日本全国に発する事業はこの山桃忌だけだと思っております。一昨年は、日本国内にとどまらず、アジアにまでその範囲を広げて会合を持ちました。今年は女性の立場からみた山桃忌をしました。来年度は、遠野市との交流に今力を入れているので、もう一度原点に戻ろうということで、柳田國男と『遠野物語』を中心としたテーマでやりたいと思っております。

(橋本町長) 遠野市の教育長に来ていただいてもいいですね。

(高寄教育長) 1日目は柳田國男と『遠野物語』を中心として、石井先生を中心としたものを、2日目は今交渉しているのは、鹿(しし)踊りなどの遠野市の民俗芸能を来ていただいてやっていただくというものを考えて交渉しています。遠野から来て頂くと思ったら、お金が旅費だけでもたくさん要りますので、どんなことができるかどうか、先方がこらえてくださいと言われるかわかりませんが、それともう一本、先日やりました遠野の昔語りを大平悦子(おおだいら えつこ)さんに来て頂いて遠野弁で語り聞かせをしてもらおうという方向で行きたいと考えています。

(委員) 山桃忌は、8月4・5日でしょうか。

(高寄教育長) 4・5日ですね。

5、その他

6、閉会

高寄十郎教育長からあいさつがありました。

(高寄教育長) 本日は何かとご予定のある中、平成29・30年度の福崎町の教育について、町長と私たち教育委員との話し合いの場を持たせていただきまして、ありがとうございました。町長の思いも伝わってきたと思えますし、また、教育委員さん方の思いも町長のほうへ伝わっていたと思えます。これからは車の両輪といいましようか、二人三脚といいましようか、ともに力をあわせて福崎町の教育のために頑張っていきたいと思えます。今日もどうもありがとうございました。

以 上

署名委員 谷 口 喜久美

署名委員 西 井 裕 子